

■ まとめ

日本のアニメ・マンガへの評価は非常に高い。世界 70 カ国以上で放映されていると言われ、「ジャパニメーション」という名称も浸透している。今回実施した、WEB検索による調査や、アンケート調査などでは、多くの作家や作品が各国で浸透しており、特にモデル地域ゆかりの作家としては手塚治虫の知名度が高いなどの結果が得られている。

今回の実証実験では、それぞれアニメ等にゆかりのある宝塚市・北栄町・境港市・倉敷市の4つのモデル地域を結びつけ、ルート化することにより相互の魅力を高め、海外からの観光客誘致を図る可能性について検討した。対象のモデル地域は、観光地としての規模、観光施策におけるアニメ等の位置づけなどが大きく異なる上、北栄町と境港市の間を除いては、それぞれの距離も近くないため、そのまま繋いでルートとすることは容易ではない。しかしながら、個々の地域魅力を高める取組や、プロモーションを行う上で連携していくことは重要と考えられる。例えば今回のモニターツアーでも、水木しげる作品に接したことのない参加者からも境港市の評価が高いなど、個々の施設や都市の魅力を充実させることが、誘客のためには重要であることが、改めて示された。こうした、街をあげてのアニメによる地域づくり・観光地づくりの取組について、複数の都市の交流・連携により、相互に高めていくことなどが考えられる。

また、アニメ等の資源を活用するのみならず、自然景観や歴史文化、温泉や食など、周辺地域の多様な資源と組み合わせて活用していくことが必要である。本調査で実施した各種アンケート等でも、単にアニメ関連のみを目的とするのではなく、他の要素と組み合わせて誘客する必要があるとの意見が多くを占めている。特に初めての訪日旅行の場合は、東京や京都など訪日旅行の定番的な拠点との組み合わせを意識する必要があるし、リピーターや国内旅行者の場合でも、中国地方の多様な資源との複合的な魅力を訴求することで、他の地域からの誘客が期待できる。

アニメ等を活用して外国人旅行者を日本へ誘導するシナリオとして、まずは「日本アニメに関心は高いが日本への旅行に興味がない」層に対して、アニメへの関心を訪日旅行に結びつけることと、「日本への旅行に期待しているがアニメへの認知度が低い」層に対して、アニメ関連も日本の多様な魅力として訴求して滞在延長・リピーター化を図ること、が中心となる。いずれのシナリオについても、個々の施設や単独の地域だけで魅力向上や

訴求を図ることは困難なため、複数の地域等が連携することを考えるが、単なる横並びではなく、各施設のレベル、都市のレベルなど各段階での検討が必要である。

アニメ関連施設は、地域全体の取組の中心的な役割を担っており、他の施設との連携によるPR強化などが考えられる。また、都市のレベルでは、アニメ関連施策の拡大・充実、観光ルートへのアニメ関連施設要素の取り入れ、魅力的な観光資源を有する周辺都市との連携などが考えられる。さらに、広域の取組としては、玄関口を設定したルート構築、国際的な集客力のあるイベントによる周辺への波及などが考えられる。

本年3月18日には、北栄町で「青山剛昌ふるさと館」が開館する。館内はそれぞれのテーマに沿った7つのテーマで構成されており、人気作「名探偵コナン」の主人公が使う蝶ネクタイ型変声機やターボエンジン付スケートボードが体験できるコーナーなど、展示に工夫がなされている。国内外から当施設を目的にした来訪や、山陰地方の周遊ルート上の立ち寄り、周辺との連携などが期待されている。

また、6月には兵庫県・鳥取県・島根県の3県連携による初の台湾誘客事業として、台湾旅行会社、マスコミ関係者等を招請する視察ツアーが計画されている。このツアーでは、「手塚治虫記念館」「青山剛昌ふるさと館」「水木しげるロード」などのアニメ関連施設等をはじめ、温泉や食、歴史文化など山陰・兵庫の観光魅力がPRされる予定であり、台湾発の広域観光ルート旅行商品の造成・販売促進が期待されている。

このように、各地で施設レベルや広域での取組が展開されつつある。

アニメ等を活用した国際観光交流等の拡大を図るにあたっては、活用する資源を、個々のアニメ作家や作品ということだけではなく、広く芸術文化として捉えたり、他の様々な資源と連携させることにより、多様な誘客施策の展開による地域活性化につながると考えられる。また、国際的なアニメ等関連イベントと連携したサテライト・イベントを行うなど、国際的に注目を浴びる中で知名度、集客力を高めることで、より国際観光交流への効果が期待できる。

外国人が日本に興味を持つ最初のきっかけがアニメやマンガであっても、実際に来訪するまでの過程や訪問中を通して、日本の多様な文化に接し、魅力を味わって帰国してもらえるような取組を、関係各者が連携して進めることにより、真に国際交流等の拡大と地域活性化が図られることが期待されている。